

26年

- 春季リーグ戦第2位
- 秋季リーグ戦第2位



部 長 沢 村 栄 治

監 督 村 田 恒 太 郎

コ ー チ

主 将 安 川 健 次

副 将

主 務 宇 賀 照 夫 副 務 溝 畑 武 夫

学連委員 宇 賀 照 夫

4 下 村 正 三 (現 木 村 正 三)

3 安 川 健 次、宇 賀 照 夫、木 村 勝、古 沢 勲
友 田 次 朗、田 中 清 昭、東 条 敏 夫、押 立 吉 男
木 村 晴 茂、黒 木 武 臣

2 溝 畑 武 夫、江 南 務、宮 本 皖 司

1 井 上 修 一、清 谷 利 次、清 谷 利 美、清 水 博 善
伊 東 俊、西 海 輝 明、梅 本 春 英

この年の思い出・26

押立吉男

昭和26年は、全国高校相撲大会出場・清谷兄弟、高校レスリング界・名門大阪市立高校・全国大会・国体出場・井上、伊東、清水君達、兵庫の名門・市神港・西海君等、高校界の偉材の入部を得、安川主将以下、大張切り、宇賀照君（現OB会副会長）の御世話で、枚岡山麗「旧枚岡青年会館」に打倒関学を目指し、15日間の長期春季合宿を行った。

当時、世間は、敗戦の混乱よりまだ脱しきれず、山奥の枚岡青年会館は、送電停止の「くらやみ会館」、寝具も十分でない、各自が毛布持参の合宿であった。

炊事は、木村勝マネージャー陣頭指揮で、怪我人が、炊事当番にあたった。

全員、起床は、午前5時30分、トレーニング班は、枚岡神社経由、枚岡梅林往復の、クロス・カントリーは、まさに死の特訓であった。ゴールした時は、目標の一本松が、大きく揺れて何本にも、見えたものであった。

一方、炊事班は、木村マネをチーフに、いかに安く、かつ腹一杯食欲を、満たすかが、問題であった。この栄養確保と、経済性の「相矛盾」の解決に毎朝、同時刻に、大阪川口の中央市場に、買出しに出動「コロケ、天婦羅」等をお父堂（故木村篤一氏・関大レスリング部元後援会長）の会社より、よく現物出資を受けたものであった。

夕食は、ローソク一本の明りで、又、毎晩のミーティングは、全くの暗闇の中で、対関学の作戦に、議論の花を咲せたものであった。

26 春 (26年5月12、19、26日、西宮体育館)

関学 ⑥	—	3	同大	順位		
関大 ⑤	—	4	同大	1	関学	2勝
関学 ⑥	—	3	関大	2	関大	1勝1敗
				3	同大	2敗

26 秋 (26年 9月29日)

関学 ⑨ — 0 同大
 関大 ⑦ — 2 同大
 関学 ⑥ — 3 関大

主要戦個人勝敗表

	関大	3	—	⑥	関学
F	安川	○	—		田村
F	押立	○	—		土井
B	清水		—	○	佐野
B	木村		—	○	伊藤
F e	古沢		10分00秒	◎	堂本
F e	宇田		—	○	野田
L	清谷		—	○	三尻
L	下村	◎	6分50秒		植田
W	梶原		6分00秒	◎	山崎

順位

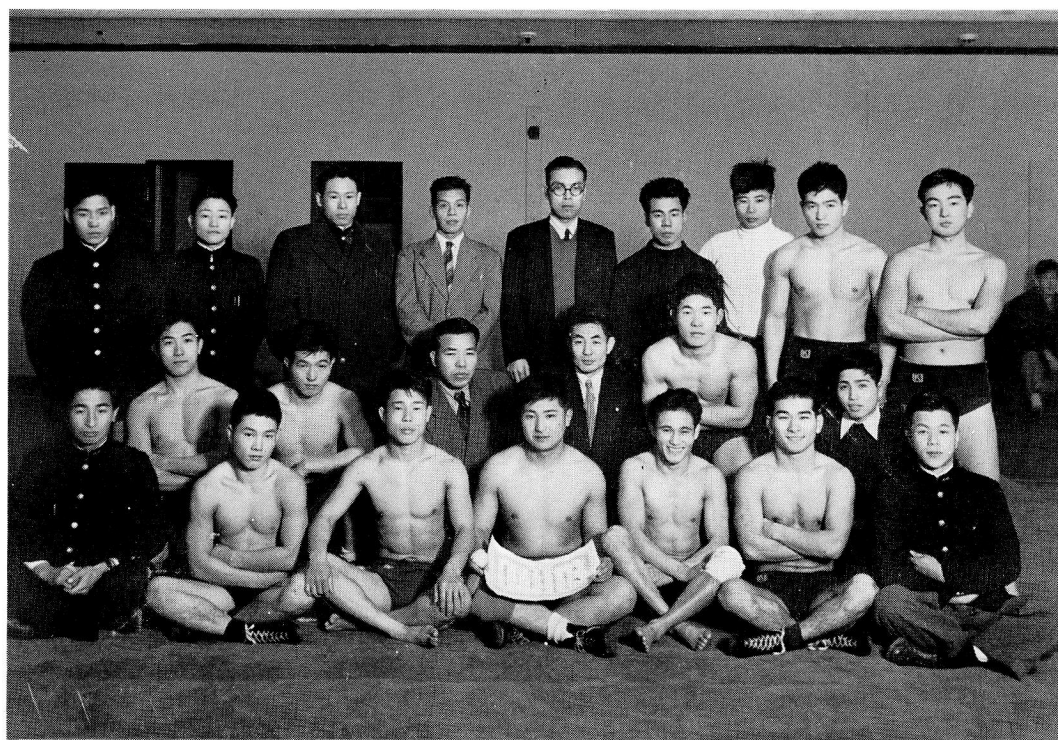
1 関学 2勝
 2 関大 1勝1敗
 3 同大 2敗

26 個人戦

関西選手権大会	フリー・F	押立 吉男	1位
全日本学生選手権大会	フリー・F	押立 吉男	3位
	〃 ・L	下村 正三	2位
全日本選手権大会	フリー・L	下村 正三	3位

27年

- 春季リーグ戦第2位
- 秋季リーグ戦優勝（3回目）



部 長 沢 村 栄 治

監 督 村 田 恒 太 郎

コ ー チ

主 将 押 立 吉 男

副 将

主 務 溝 畑 武 夫 副 務 松 島 繁

学連委員 溝 畑 武 夫

4	安 川 健 次、 友 田 次 朗、 木 村 晴 茂、	字 賀 照 夫、 田 中 清 昭、 黒 木 武 臣	木 村 勝、 東 条 敏 夫、	古 沢 勲 押 立 吉 男
3	溝 畑 武 夫、	江 南 務、	宮 本 皖 司	
2	井 上 修 一、 清 水 博 善、	清 谷 利 次、 伊 東 俊 昭、	清 谷 利 美、 西 海 輝 明	梅 木 春 英
1	横 山 勝 利、 宮 崎 喬、	坂 寛 明、 安 喜 允 昭、	浜 野 進、 藤 下 考 夫	福 田 三 郎

この年の思い出・27

押立吉男

昭和27年は、後のワルシャワのユニバシヤード大会において、準優勝した横山勝利君が、希望に燃えて、入部した年であった。

小生は、名付親、宇賀照夫君の「関大の人間機関車」のニックネーム通り、「レクリングとは走ることなり」と信じていた。主将になっても、この信念は変わらず、当時レスリング道場は、天六学舎の南側地下教室を、改造したものであったが、練習はまず、道場より、桜宮公園、公園グラウンドにて、サーキット・トレーニング、つづいて、南森町経由、天六学舎へのコースが、日課であった。

当時から、「考えるレスリング」が吾部の目標の一つであった。ロードワークも、市電のレールの上を、ジグザグに、時には、バック、ターン、それ！タックルだと、走りながらの、レスリングに、夢中になり、何か、後が騒がしいと、思ったら市電の運転手さんが「ブーブー」、警笛をならして、軌道を、あけろと、どなっていたことが、よくあった。

「部費かせぎのドサ廻り」、今までの、話が苦しかったこと、辛かったことが、時の経過により、楽しい追憶となったとすれば、一味違った愉快的な想出もあった。

昭和24年から翌年にかけて、まだ「進駐軍」が、絶大の権力を持っていた時代であったが、当時、大阪府レスリング協会々長の、故小田原先生の、御尽力で、進駐軍慰問レスリング競技会が、「奈良」、「上六日赤病院」等の米軍キャンプで、催された。

エキジビションは、技巧派 木村晴茂君、柔道3段 投技の黒木君、リズムカルな木村勝君、素人飛び入り歓迎試合は、重量級は下村主将、軽量級は、小生等が受持ったが、ともかく、愉快的なエキジビションマッチであった。楽しいことといえば、競技会のあと、将校クラブで御馳走になったアイスクリーム、ジュースのうまかったこと。日当は、5ドル（当時、1ドル360円）で、500円が個人に、1,300円が部費に、それぞれ有意義に、使用されたことは、当時、参加した猛レスラー？にとっては、今もOB会の酒の肴になっている楽しい想いの一つである。

27 春 (27年5月18日、西宮体育館)

関大	⑥	—	3	同大	順位
関学	⑥	—	3	同大	1 関学 2勝
関学	⑤	—	4	関大	2 関大 1勝1敗
				3 同大	2敗

27 秋

(27年9月23日、西宮体育館)

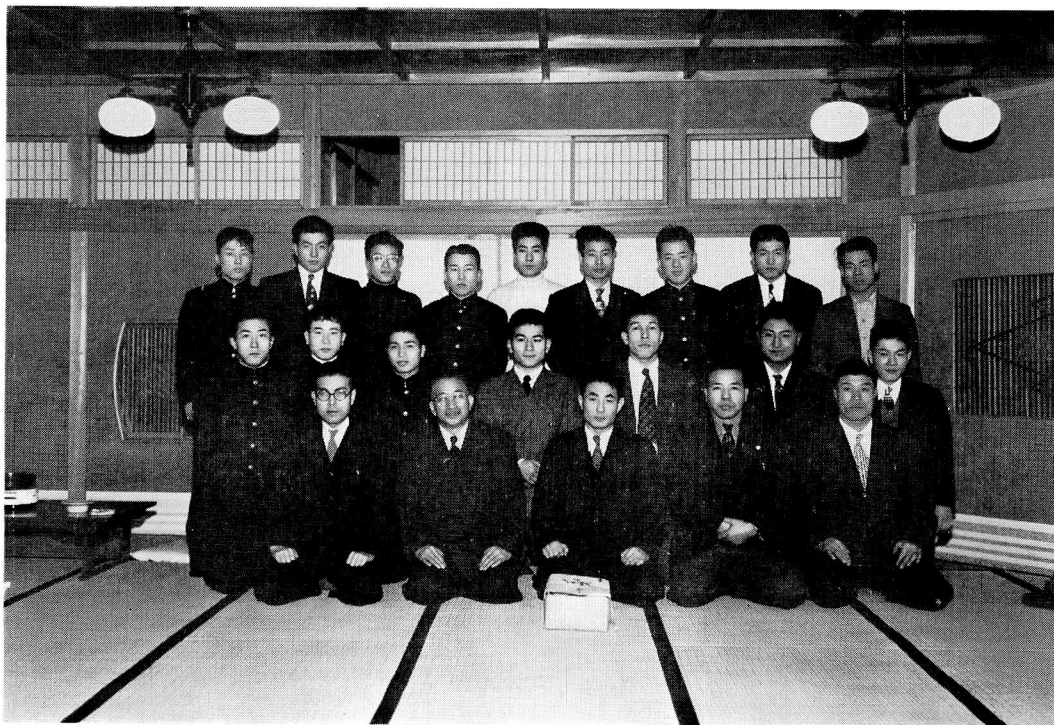
関大 ⑦	—	2	同大	順位		
関学 ⑦	—	2	同大	1	関大	2勝
関大 ⑤	—	4	関学	2	関学	1勝1敗
				3	同大	2敗

27 個人戦

関西選手権大会	フリー・F	安川 健次	1位
	// ・B	押立 吉男	1位
	// ・B	坂 寛明	3位
	// ・L	清谷 利次	2位
	// ・W	清谷 利美	1位
	// ・M	梶原太平衛 (OB)	1位
	// ・M	古沢 勲	2位
全日本学生選手権大会	フリー・F	押立 吉男	2位

28年

- 春季リーグ戦優勝(2連勝、4回目)
- 秋季リーグ戦第2位



部 長 沢 村 栄 治

監 督 村 田 恒 太 郎

コ ー チ

主 将 清 谷 利 次

副 将

主 務 溝 畑 武 夫

学連委員 溝 畑 武 夫

4 溝 畑 武 夫、江 南 務、宮 本 皖 司

3 井 上 修 一、清 谷 利 次、清 谷 利 美、清 水 博 善
 伊 東 俊、西 海 輝 明、梅 木 春 英

2 横 山 勝 利、坂 寛 明、浜 野 進、福 田 三 郎
 宮 崎 喬、安 喜 允 昭、藤 下 考 夫

1 宇 賀 大 三 郎、尾 崎 英 輔、金 輪 秀 隆、岸 本 盾 一
 佐 木 敏、竹 谷 政 雄、岩 田 輝、大 川 寿 一
 山 根 勝、岡 本 島 夫、增 岡 勉、白 水

この年の思い出・28

溝畑武夫

怒声と歓呼、殺気だった人息、眼血走り全身汗、エネルギーの結晶否肉体と精神の権化がぶっかかり合う四角な布の上、仁王を思わず筋骨隆々の肉体、大きく肩で息する選手、手に汗し自身の闘う如き応援、マットの擦れる音、タックル、バックの声も同化して会場にこだまする。ホイッスルの轟高い音。称賛と拍手。嘆息と血涙、15分に賭ける命。たった15分に何と長い苦労が要るのだろうか。

肉体と精神の極限を感じさせる練習の結果をマットの上で表現するのに与えられた時間が15分限りとは、充二分に発揮出来た者と実力を出し切れなかった者と、結果だけが残る、いやな活字となって、だが勝利は偶然の産物ではないことも事実、一事だけを見れば運不運もあったろうが、4年間を通じての結果はやはり努力の結果だ。青春を極限に賭けた人々の今在るを見る時、あの苦労と努力！、個人的には目的に違いがあり表面の結果に差があったにしても個々の人間が一つの目的の為に努力し全員が一丸となって協力して行くことの貴さを体験し得たことは人生における貴重な宝となったろう。15分間のために教室に出なくとも道場には毎日顔を見せた面々、表面に華々しく活躍した者、蔭の力となり舞台裏で頑張った者。青春を泣き笑い又誇りと悔の交叉する一時代が走馬灯の如く駆けめぐる。だが人間の性か、辛かったことより楽しかった思い出だけが強く残映し脳裏に刻まれている。

大勢の卒業生を送り出した後、新人獲得のため名古屋、岐阜、(反転)かえって岡山、神戸と駆けめぐった事、地元高校へ公開練習に行ったことも5校に及ぶ。同じ辛い合宿ならと風光明媚な未知な処でと何の手伝もなく夜汽車にゆられて鳥取後援会長を訪ね警察道場を練習場に、又宿泊所をお世話願ったこと、帰途豪雨で山陰本線不通になり津山、姫路と、乗りついで一人心細く帰阪したこと。又いよいよ本番で鳥取入りした合宿の中休みで湖山池の伝説に耳を傾け砂丘での風紋の面白さや砂漠のオアシスを想わせる様な泉。

又全日本学生選手権が次年の国体の予行の為か、函館で開催され、青森まで特急「日本海」で24時間かかり、尚連絡船に乗りつぎ函館の大地を踏んだ時の安堵感。異国情緒豊かな港やトラピスト修道院、幕末を偲ばせる五稜閣や市街を眼下に位置する丘に眠る薄幸の詩人啄木の墓、又大沼に映える駒ヶ岳の雄姿。はてどもなく広がる原野とクラーク博士の像と時計台に明治の気骨を偲び登別の滝本旅館の大きさと浴槽の多さとそれが各各、成分が違うこと等驚くばかり、当時混浴の珍しく、湯気もうろうの内に「女体」を求めて数多く入浴する事。洞爺湖に紺碧の青を知り、昭和新山に自然の驚異を覚え、白老に敗戦日本の中の弱少民族の悲哀を感じ、手細工より生み出す作品に哀れを見たのは思いあがりか。

はた又大学祭の模範試合の晴れがましきと、反対に大阪YMCAで当校が主催した全日本学生王座決定戦で中央大に敗れた事、対日大定期戦や明大との徳島で行なわれた試合のこと等、思い出もつきないが、筆の拙なく、表現出来ないのが心苦しい。辛きことより楽しきことのみ思い返すも年の故か、ああ青春の彼方にして夢なつかしみ、いつくしむ、悔恨の情深く、尽きぬ思い出。

28 春 (28年5月23日、神戸YMCA)

関大 ⑦ - 2 同大
 関学 ⑥ - 3 同大
 関大 ⑥ - 3 関学

主要戦個人勝敗表

	関大 ⑥ - 3 関学
F	大川 ○ - 川崎
F	横山 ◎ 8分05秒 清水
B	坂 - ○田村
B	佐々木 ○ - 佐々木
F e	井上 ◎ 8分55秒 山田
F e	宮崎 7分30秒 ○小寺
L	清谷(兄) ○ - 三ヶ尻
L	清谷(弟) ○ - 植田
W	宇賀 - ○大滝

順位

1 関大 2勝
 2 関学 1勝1敗
 3 同大 2敗

28 秋 (28年9月19日、神戸YMCA)

関大 ⑥ - 3 同大
 関学 ⑥ - 3 同大
 関学 ③ - 3 関大

主要戦個人勝敗表

	関大 3 - ⑥ 関学
F	大川 - ○川崎
F	横山 2分42秒 ◎田村
B	坂 ○ 10分20秒 山田
B	宮崎 - ○伊藤
F e	井上 ○ - 奥村
F e	清水 11分05秒 ○小寺
L	清谷(兄) ◎ 8分20秒 植田
L	清谷(弟) - ○三ヶ尻
W	宇賀 0分45秒 ○大崎

順位

1 関学 2勝
 2 関大 1勝1敗
 3 同大 2敗

28 個人戦

近畿選手権大会

フリー・F 横山 勝利 2位
 "・B 押立 吉男 (OB) 1位
 "・L 清谷 利次 1位
 "・W 清谷 利美 2位
 "・M 下村 正三 (OB) 1位

全日本学生選手権大会

フリー・L 清谷 利次 3位

国民体育大会

フリー・F 安川 健次 (OB) 3位

29年

- 松原藤由先生、部長に就任する
- 松井清、監督に就任する
- 春季リーグ戦第2位
- 秋季リーグ戦優勝（5回目）
- 押立吉男、米国遠征日本代表
- 清谷利次、米国遠征日本代表
- 松井清、関西大学体育OB会副会長となる



部 長 松 原 藤 由

監 督 松 井 清

コ ー チ

主 将 井 上 修 一

副 将 清 谷 利 美

主 務 金 輪 秀 隆

学連委員 金 輪 秀 隆

4	井 上 修 一、 伊 東 俊	清 谷 利 次、 西 海 輝 明、	清 谷 利 美、 梅 木 春 英	清 水 博 善
3	横 山 勝 利、 宫 崎 喬	坂 寛 明、 安 喜 允 昭、	浜 野 進、 藤 下 考 夫	福 田 三 郎
2	宇 贺 大三郎、 佐々木 敏、 山 根 勝	尾 崎 英 輔、 竹 谷 政 雄、 岡 本 島 夫	金 輪 秀 隆、 岩 田 輝 勉、 増 岡 勉	岸 本 盾 一 大 川 寿 一 白 水
1	乾 哲 夫、 北 岸 野 一	小 中 貞 夫 丸 谷 博 俊	(現 柏木貞夫)、 若 林 正 敏	河 竹 雄 二 郎 町 田 行 康

この年の思い出・29

井上修一

過日同期（30年度卒）の清谷利次君から電話があって、関西大学レスリング部創立30周年の記念部誌に何か書いてくれと、お鉢を廻わされてしまい、ともかく何か書かねばならないはめになった。

現在、会社の仕事以外でペンを走らせる事はまずない。手紙も年賀状・暑中見舞以外はほとんど書かない。何を書くか、となると当時の思い出しかない。

昭和20年代、未だ戦後間もない時代に私達は只一途にレスリングをやったと思う。苦しい練習の合間に、又試合の負けた時、ふと激しい挫折感を味わう事が何度かあった。

その時、共に居た、故安川健次先輩、押立吉男先輩等（他の先輩方も同じであるが）の目の奥に一つの執念を感じて心をうたれた事を今も思い出す。これが「虫」ではなかったかと。レスリングの虫、只黙々と練習に、又試合に、ものにつかれた様にして、レスリングに打込む姿に私は一種の恐怖をさえ感じたものだ。しかし押立先輩の顔には嬉々としたもの、レスリングが楽しくて仕方がないと云ったもの、これこそ「虫」であると。

松井大先輩はいわゆる「車の虫」であったと思う。現在と違って当時は未だほとんど自動車を見掛けなかった。松井先輩はよく千里山の体育館へ、ダットサンを走らせて来られたのを思い出す。メガネ越しに例の鋭い眼を光らせて我々の練習を指導されたものである。

練習後は、当時は大金であった千円札を何枚か出されて、腹のへった我々の胃袋を満たして下さったのも有難かった一つである。

只今ここに哀惜にたえない事は、その「虫」の一人であった安川先輩が昭和50年に短命のうちになられた事である。

先輩は卒業後、今度は「仕事の虫」となって重責につかれ、会社の業績に貢献されたと聞いている。切に先輩の冥福を祈りたいと思う。

何事につけ一つの事柄に打込む事は美しいと思う。私もそうありたいのであるがどうも心根が出来ていない為「虫」の心眼が開けそうにない。

今ここに望むべくは、創立後30年になる 関西大学レスリング部の150余人の「虫」の諸先輩の意を解する諸士が多く出ずる事を祈りたいと思う。

29 春

(29年6月2日、大阪府立体育館)

関大 ⑤ - 4 同大
 関学 ⑥ - 3 同大
 関学 ⑤ - 4 関大

主要戦個人勝敗表

関大 4 - ⑤ 関学	
F 小中	○田村
F 横山	○キケン 川崎
B 大川	10分50秒 ◎佐々木
B 坂	11分00秒 ◎植木
F e 井上	○ 8分00秒 奥村
F e 佐々木	0分15秒 ◎小寺
L 清谷(兄)	◎ 5分14秒 荒山
L 宇賀	◎ 2分34秒 中西
W 清谷(弟)	○大崎

順位

- 1 関学 2勝
- 2 関大 1勝1敗
- 3 同大 2敗



合宿練習スケジュール
 「猛れんしゅうだ!」

29 秋

(29年 9月19、20、26日、大阪YMCA)

関学	—	八幡大
関大	—	近大
同大	—	八幡大
関学	—	近大
関大	—	八幡大
近大	—	八幡大
同大	⑦ — 1	近大
関大	⑦ — 2	同大
関学	⑥ — 3	同大
関大	⑤ — 4	関学

順位

1	関大	4勝
2	関学	3勝1敗
3	同大	2勝2敗
4	近大	1勝3敗
5	八幡大	4敗

主要戦個人勝敗表

関大	⑤	—	4	関学
F	横山	◎	4分00秒	田村
F	尾崎	—	—	○川崎
B	岸本	—	9分00秒	◎植木
B	坂	○	—	佐々木
F e	井上	◎	10分26秒	奥村
F e	佐々木	—	6分30秒	◎小寺
L	宇賀	○	—	中西
L	清谷(兄)	◎	6分20秒	荒山
W	清谷(弟)	—	11分18秒	◎大崎

29 個人戦

関西選手権大会	フリー・F	横山 勝利	2位
	〃・L	清谷 利次	1位
	〃・W	清谷 利美	2位
	〃・M	下村 正三(OB)	1位
	〃・M	古沢 勲(OB)	2位
国民体育大会	フリー・L	清谷 利次	3位
全日本選手権大会	フリー・F	横山 勝利	2位
全米選手権大会	グレコ・B	押立 吉男	2位

30年

- 高堂俊弥先生、部長に就任する
- 春季リーグ戦優勝（2連勝、6回目）
- 秋季リーグ戦優勝（3連勝、7回目）
- 横山勝利、米国遠征日本代表
- 清谷利美、米国遠征日本代表
- 横山勝利、ユニバシヤード・ワルシャワ大会日本代表
- 松井清、関西大学レスリング部OB会会長となる
- 松井清、近畿アマチュアレスリング協会副会長となる



部長 高堂 俊 弥

監督 松 井 清

コ - チ

主 将 横 山 勝 利、坂 寛 明

副 将 坂 寛 明、横 山 勝 利

主 務 金 輪 秀 隆

学連委員 金 輪 秀 隆

4 横 山 勝 利、坂 寛 明、浜 野 進、福 田 三 郎

宮 崎 喬、安 喜 允 昭、藤 下 考 夫

3 宇 賀 大 三 郎、尾 崎 英 輔、金 輪 秀 隆、岸 本 盾 一

佐 々 木 敏、竹 谷 政 雄、岩 田 輝、大 川 寿 一

山 根 勝、岡 本 島 夫、增 岡 勉

2 乾 哲 夫、小 中 貞 夫 (現 柏 木 貞 夫)、河 竹 雄 二 郎

北 岸 高、丸 谷 博 俊、若 林 正 敏、町 田 行 康

河 野 一 雄

1 西 脇 義 隆、森 川 泰 治、岡 本 圭 司、盛 本 孝 司

村 田 恵 彦

この年の思い出・30

坂 寛 明

卒業してから早や今年で21年経った。その間、諸先輩には義理を欠き、また同僚、後輩の諸君との交流も途絶え勝ちで、OB会々員として面目次第もない。今更私如きが随想の執筆を請け合うことは、おこがましい気もするが、主将を務めた所以をもって、敢えて部誌の頁を汚させてもらうことにする。

さて、往時を回想するとき、断片的ではあるが様々な思い出が蘇り、誇らしきとも恥かしきとも悔しきともつかぬ如何んとも表現しがたい感慨に胸が浸されるのである。

私が4回生の頃のわが部は、部創設以来今日に至る歴史的変遷の上で、質量とも比較的充実し、かつ隆盛の時期にあったように思う。そのことは、春季関西学生リーグ戦（5校参加）および西日本学生リーグ戦（八幡大が加入、連盟の名称が変更）で各校に圧倒的勝差をつけて優勝したことやその他の記録からも窺い知れよう。中には個人的に卓越した力量を備えた者もいたし、物質的窮乏にもめげずよく練習もしたが、部員一同の連帯感なり協調性の強さに負うところまた大であったと考えている。今一つのわが部の誇りは、名選手横山君の国内外での活躍であった。仔細は本誌記録の部に譲るが、関大レスリング部の歴史に栄光の一頁を飾る勇者として、末長くその名を留めるであろう。

誰しもそうかも知れないが、レスリング生活を顧みて、鮮やかな印象として浮かぶのは、練習の情景である。確かに厳しい肉体上、精神上の試練ではあった。しかし、私は、今となっては尊い経験であったと信じている。苦しきの最たるものは、何と言っても夏期合宿訓練である。私の4回生時は鳥取市で行なった。主将としての責任感から相当厳しい訓練を実行したことを覚えている。たまたま岡山県下の高校生で優秀なレスラーが2名程参加していたが、初日の猛烈な練習振りに耐えかねてか翌朝起床してみると夜逃げをして忽然と消え失せていたように記憶する。また、その時の合宿の最終日には、連日に亘っての故障者続出のため、練習参加者は初日の半数に減った。ともあれ、合宿訓練ほど辛いものはなかった。しかし、過ぎ去れば何もかもが懐かしい青春の一駒に過ぎなくなるのは妙なものである。年の所為かも知れぬ。

他に楽しかったこと、遺憾に思ったことなど多々ある。特に低年次でのそれが一際印象深い。ここでは一々書けないし、また、本稿執筆の趣旨にも外れる。割愛するに忍びない。

いざ筆を執ってみると、不本意ながら通り一遍の随想になった。ともかく私は最上級生として非器無能なリーダーであったが大過なく務められたのは、諸先輩の激励と部員諸君のお蔭であり感謝の念で一杯である。末筆ながらこのことを書き添えて拙文を閉じる。

関西大学レスリング部創立30周年に栄光あれ！

30 春

(30年6月4、5、12日、同志社大学)

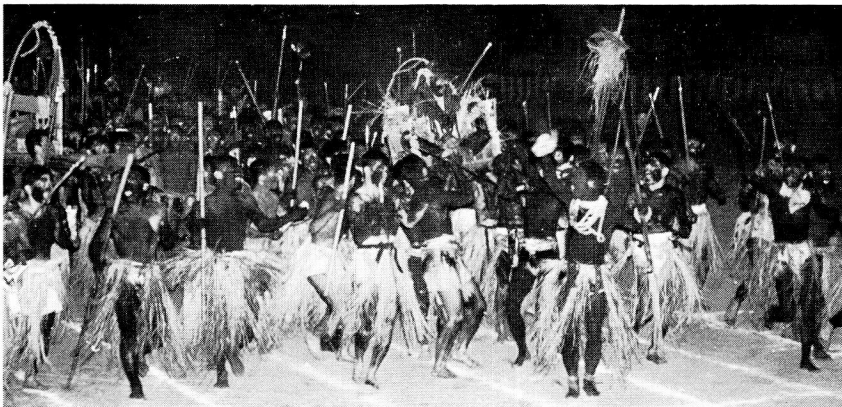
関大	⑨	—	0	名城大
関大	⑥	—	3	同大
関大	⑦	—	2	近大
同大	⑦	—	2	名城大
関学	⑧	—	1	近大
関学	⑦	—	2	名城大
同大	⑥	—	3	近大
関学	⑤	—	4	同大
近大	⑤	—	4	名城大
関大	⑦	—	2	関学

順位

1	関大	4勝
2	関学	3勝1敗
3	同大	2勝2敗
4	近大	1勝3敗
5	名城大	4敗

主要戦個人勝敗表

関大 ⑦ — 2 関学			
F	岩田	◎	9分25秒 川崎
F	横山	◎	4分00秒 田村
B	岸本	○	— 佐々木
B	河竹		11分56秒 ◎植木
F e	町田		— ○奥村
F e	坂	◎	7分20秒 荒山
L	丸谷	○	— 中西
L	乾	◎	4分15秒 大崎
W	宇賀	○	— 植田



復活が望まれる「関大名物土人おどり」
昭和44年の大学紛争以来千里祭は中止されている。

30 秋

(30年10月 2、3、4、6日、大阪YMCA)

近大	⑥	—	3	名城大
同大	⑨	—	0	八幡大
関学	⑧	—	1	名城大
関大	⑨	—	0	八幡大
同大	⑦	—	2	名城大
関大	⑧	—	1	近大
近大	⑨	—	0	八幡大
関大	⑧	—	1	名城大
関学	⑨	—	0	八幡大
名城大	⑨	—	0	八幡大
同大	⑤	—	4	関学
近大	⑤	—	4	関学
関大	⑦	—	2	同大
同大	⑦	—	2	近大
関大	⑤	—	4	関学

主要戦個人勝敗表

	関大	⑦	—	2	関学
F	小中	—			○杉原
F	岩田	◎	8分35秒		竹野
B	岸本	◎	0分24秒		高橋
B	河竹	◎	1分40秒		福光
F e	佐々木	◎	4分50秒		平山
F e	坂	○	—		岩野(兄)
L	丸谷	○	—		加藤
L	乾	—			○岩野(弟)
W	宇賀	○	1分44秒		石原

順位

1	関大	5勝
2	同大	4勝1敗
3	近大	3勝2敗
4	関学	2勝3敗
5	名城大	1勝4敗
6	八幡大	5敗

30 個人戦

近畿選手権大会	フリー・F	横山 勝利	1位
	〃・F e	佐々木 徹	2位
	〃・L	乾 哲夫	2位
	〃・W	宇賀大三郎	1位
	〃・W	下村 正三(OB)	2位
国民体育大会	フリー・F	横山 勝利	1位
米国海軍選手権大会	フリー・F	横山 勝利	1位
米国西部選手権大会	フリー・B	横山 勝利	2位
全米選手権大会	フリー・F	横山 勝利	1位
	グレコ・F	横山 勝利	1位
ユニバシールド ワルシャワ大会	フリー・F	横山 勝利	2位
